



夏休みが終わり、学校にみなさんの元気な声が戻ってきました。きっとすてきな思い出がたくさんできたことでしょう。

夏休み中に学校図書館には新しい本が入りました。たくさん借りに来てくださいね。

～9月29日は十五夜～ お月見の夜におすすめの本

『オツベルと象』 宮沢賢治（作） 長谷川義史（絵） 岩崎書店

ある日、白い象がオツベルの屋敷にやってきました。ずるがしこいオツベルは象をだましてたくさん働かせることに……。仕事をするのが楽しい象は、初めは月を見て「ああ、せいせいした。サンタマリア」と言っていたのに、ある日「もう、さよなら、サンタマリア。」と月に別れを告げたのでした……。

『14ひきのおつきみ』 いわむら かすお（作・絵） 童心社

ねずみの家族は、夜が近づくと月にお団子や栗の実、ドングリをお供えします。そして、ついにまん丸な月が昇ってきました。実りを月に感謝し、それから楽しい十五夜のお月見をして過ごします。

『つきのよるに』 いもいとようこ（作・絵） 岩崎書店

月の夜にカモシカのぼくは生まれました。何度も何度も転んでは立ちあがり大きくなりました。おかあさんの後についていっぱいまねっこもしました…。厳しい自然の中での、親子のつながりがえがかれています。

『月を知る』 渡部潤一（監修） 三品隆司（構成・文） 岩崎書店

月は、わたしたちにとってたいへん身近な存在です。満ち欠けや軌道、クレーターなど、月という天体について写真とイラストで解説しています。月の伝説、月に魅了された人々、月探査の歴史も紹介しています。

月見を秋にするのはなぜ？

秋は暑くもなく寒くもなく、空気がすんでいるので、満月を見るのにちょうどいい季節だからだよ。秋の農作物の収穫に、感謝する意味もあるんだ。

『ものしりチャンピオン 1000問 秋250の“なぜ”』
くもん出版より

えほん まな エスディーゼズ 絵本で学ぼう! SDGs

3 すべての人に健康と福祉を



SDGsの目標3 すべての人に健康と福祉を

地球上すべての生き物にとって、健康でいることと、新しい命が安全に守られることが大切です。そのためにわたしたちができること、しなければならないことは何でしょう？

『ねこのおいしゃさん』 ますだゆうこ（ぶん） あべ弘士（え） そうえん社

ねこのおいしゃさんは、どんなびょうきも「ニャー！」ときあいでおおしてしまいます。ところがあるひ、おくさんのおなかがいなくなって……。

◆ 本でコミュニケーション ◆

☆おすすめの本☆（図書委員さんのおすすめ）

『衝撃のラスト！二度読みストーリー』 桐谷直 他（作） ナツメ社

たいへん短い2ページから3ページのショートストーリーです。初めの1ページから予想される結末、次のページには全く違った結末が待っています。これって、どういうこと！ともう一度読みなおしてみたいような内容です。みなさんは、しかけられたトリックを見破れますか？

